

事務事業名		児童福祉施設整備事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	総務政策グループ	課長名	狩野明芳
	施策名	(26) 子育て支援の充実	担当者名	南波真二	電話番号	0854-40-1044
	目的	子どもの保護者と産み育てたい意図 安心して子育てができる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 1 5 1 1 1	(内線)	2252
	対象	基本事業名 (076) 地域における子育て支援の充実 保護者・地域 意図 地域で子育てを支える環境がある。	項目	中事業 中事業 1 0 0 5 0 1	児童福祉施設整備事業 児童福祉施設整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・寺領児童クラブ開設に伴う施設整備及び備品購入等
・きすき児童クラブ移転に伴う施設整備及び備品購入等
・既存児童福祉施設整備

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・寺領児童クラブ開設のため、寺領小学校体育館2Fのミーティングルームの施設改修及び必要備品の購入を行った。 ・きすき児童クラブの移転を行うため、勤労青少年ホーム1Fの旧議員控室の施設改修を行った。 【財源：子ども・子育て支援整備交付金及び合併特例債】 ・各児童クラブICT化(備品購入) 【財源：児童健全育成対策費補助金】	29年度計画(29年度に計画する主な活動) ・斐伊児童クラブ施設整備 【財源：子ども・子育て支援整備交付金、子ども・子育て支援交付金及び合併特例債】 ・病児保育室施設整備 【財源：子ども・子育て支援整備交付金及び合併特例債】			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	市内児童クラブ施設数	施設	9	9	10	10
イ	市内病児保育施設数	施設				1
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	各児童福祉施設及びその利用者	ア	18歳までの子どもを持つ世帯数	世帯	3,239	3,258	3,180	2,975
		イ	市内児童クラブ施設数	施設	9	9	10	10
		ウ	市内病児保育施設数	施設				1
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
子育てしやすい環境を整える	ア	子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合(行政サービスの)	%	61.1	65.9	71.2	64.0	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			15,136	17,475
		県支出金	千円			3,446	4,618
		地方債	千円			3,500	10,200
		その他	千円				
事業費計 (A)		千円			27,935	33,400	
人件費	正規職員従事人数	人				2	
	延べ業務時間	時間			150		
	人件費計 (B)	千円			595		
トータルコスト(A)+(B)		千円			28,530		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・児童クラブ利用希望者は増加傾向にあり、定員超過のため受入ができない場合もある。 ・国交付金は、基準額及び負担割合の改定により増額している。 ・子育て支援に係るニーズは多様化、増加傾向にある。	各施設整備は単年度事業であり特記事項なし。	・児童クラブ未整備の校区や定員超過のため入所に制限のかかっている地域においては施設拡充の要望がある。  ・子育て支援に係るニーズは多様化、増加傾向にある。

事務事業名	児童福祉施設整備事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	------------	-----	--------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設整備等を行う場合、場所・規模・条件等は、都度関係者協議により、その条件下においての最良を選択し行ってる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	高まり続けるニーズに対応できない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		放課後子ども教室推進事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		<input type="checkbox"/> 他に手段がない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		工事発注、備品購入は市規則通り競争入札により実施しており入札減以外の削減は見込めない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		整備施設は、各条件により優先順位を定め行っているため公平・公正である。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子育て支援に係るニーズは多様化、増加傾向であり、それに対応するためには、継続的かつ計画的な施設整備が必要である。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>子育て支援に係るニーズは多様化、増加傾向であり、それに対応するためには、継続的かつ計画的な施設整備が必要である。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			